



War Cry

7月号

福音版
2019
July
No.2786

二〇一九年 七月一日発行

明治二十八年創刊 福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

GOOD NEWS ときのかえ

「救い」の「軍隊」って？

ブレンダ・ラスコム

「救世軍」の名は英語で、「SALVATIONARY ARMY」と書き、日本語で、「救い」の「軍隊」という意味の言葉になります。

「世」を入れて「救世軍」と日本語に訳したのは、ジャーナリスト・政治家として活躍した、尾崎行雄であると言われています。

救世軍というと、制服を着ている人、ブラスバンド奏者、礼拝に通う人、様々な支援活動をしている人、などの姿を思い浮かべる方も多いことでしょう。

七月は、今から百五十四年前に創立者ウイリアム・ブースとカサリン・ブース

夫妻がその働きの第一歩を刻んだことを記念する月です。時を経、様々なことは変化しましたが、救世軍の存在の本質と目的は今も変わりません。

救世軍の本質は、聖書の中に記されています。「イエスは言われた。

『心を尽くし、精神を尽くし、

思いを尽くして、あなたを愛しなさい。これが最も重要な第一の掟である。第二

も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。』(マタイによる福音書

22章37〜39節) ブース夫妻は、

この聖書の言葉に見られるような、

大胆で生き生きとした神様との関係を築いていました。

イエス様との親し

い関係によって彼らの人生は変革され、そして、彼らを通して世界が変革されていきました。

神様は、私たち一人ひとり

りを深く愛してください。私たちは深く愛するがゆえに、私たちの罪の身代りとするため、

独り子イエス様をこの世に送ってくださいました。イエス様は、十字架で死んで

くださり、その全存在で神様を愛し、隣人を愛することを示してくださいましたので

した。救世軍は、そのイエス様の救いを人々に全存在で証しする軍隊なのです。

「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたを愛しなさい」とは、礼拝を献げる日曜日の一時間だけのことを言っているわけではありません。生活の百パーセントのことを言っているのです。

それは、私たちの感情、才能、技能、宝、時間、存在などすべてのものに神様が介入してくださいることを受け入れることであり、私たちの生活の第一に神様を置くことを意味しています。

そこそこが、神様が本来おられるべき場所だからです。イエス様は、私たちの存在のすべてで神様を愛する

ことが、神様から与えられた最大の戒めであることを思い出させているのです。神様への愛は、他の人々を愛し、他の人々に仕えたい、という強い願いを生みださせます。ブース夫妻が、現実的な方法で人々に手を差し伸べ、助けたい、と願った動機は、神様へのこの全き愛でした。

救世軍の使命は、世界各地どこにおいても、福音を宣べ伝え、そしてイエス・キリストの名のもとに、分けへだてなく人々のニーズに応えることです。

そのような働きを日夜続けていくためには、今も、救い主イエス様との生き生きとした関係を育み続ける必要があります。過去の経験に頼ることなく、尽きることもない人々のニーズに応え続けるのです。

一人でも多くの方が、この「救い」の「軍隊」に出会い、神様の深い豊かな愛を知ることができまますようお祈りいたします。

(救世軍士官(伝道者))



写真は、ルーマニアの救世軍「ARMATA SALVĂRII」に属する信徒と救世軍の建物

救世軍創立記念日
7月2日



つ言わずにいってくれ、その上、車の免許を取って、小柄ながらトラックを運転して仕事を支えてくれました。その後、草加の土地を仲介してくださった不動産業者の良心的な仕事ぶりに傾倒した私は、木工業の傍ら不動産業を始め、やがてそれを本業にしました。仕事上でも信仰を第一として、儲かると思っても、不正と思われることは一切しないようにしていました。

息子が地元高校に入学した時、なんとその校訓が、「望みを抱いて喜び、艱難に耐える」(ローマ人への手紙12章12節新改訳聖書より)でした。そして校長先生も熱心なクリスチャンだったのです。私は、三年間PTAの会長を務めました。公立高校なので校訓が聖書の言葉だとは言えませんが、入学式や卒業式の祝

辞中に自分の経験からお話しすることができたのは感謝でした。西新井小隊が、戦後今の場所に行くようになった私です。現在の建物の建築の時には、喜んで毎日のように現場を見に行きました。自分の家を建てる気持ちで木部は全部私が塗装しました。仕事はその合間にしましたが、神様は不思議とその間の仕事を祝福してください。不動産仲介の話がまたまるごと多く、収入はかえって多いくらいでした。今年五月、小隊の下士官を引退しました(写真左上・引退記念に。家族と。ふり返ると、神様は、人生のあらゆる艱難の中にも、信仰によって希望を与え続けてくださり、耐えられるよう支え続けてくださいました。山室軍平(4ページ参照)のつくられた歌に「無学不文の漁師を あげもちいたる イエスキミは いまもわれらを もちいたもう」(『救世軍歌集』337番)とありますが、小学校しか出ていない私が、やがて地域の無料相談員や、法律無料相談員、町会長までさせていただけただけから、ただただ神様に感謝しています。



髪をきれいに結い上げていただいた記念に

戦争中は福島に疎開し、戦後東京に戻った両親は、深川小隊は焼失していたので、戦前からお世話になっていた永島さん(救世軍士官)が、信徒の家を訪ねておこなっていた家庭集会で信仰

私の両親は、戦争前に救世軍の深川小隊で信仰をもっていました。神様を知ることには人には言えないほどの苦労をしたそうです。幼い頃、一家で小隊に通っていたことを覚えています。母は困っている人がいたら洗濯をしてあげたり、大家族の中にありながらも小隊の家庭団(女性の働き)や小隊のお手伝いをまめにしていました。小さい頃は神様のお話がよくわからなかったのですが、十八歳の時、神様をはっきりと見る経験をしました。それが私にとつての救いの経験だと思っています。

戦中中は福島に疎開し、戦後東京に戻った両親は、深川小隊は焼失していたので、戦前からお世話になっていた永島さん(救世軍士官)が、信徒の家を訪ねておこなっていた家庭集会で信仰

苦勞も仕事も子育ても、そして介護も、主人と二人三脚で歩んできました

昭和三十二年に結婚し、昭和三十三年に結婚しました。和の頃、集会に行っていた私に、「神庭君という青年がいて、自分の家を建て、若いのに偉い」と父が話したり、時々本人が救世軍の用を頼まれて我が家を訪ねて来たりするようになりました。私は、結婚するならば信仰をもっている人、と思っておりましたので、主人との結婚の話は、神様のお導きと感じました。

信仰の体験談・証言のページ

主の栄光を語り伝えよう

2019
Declare His Glory

救世軍では、小隊(教会にあたる)の働きを支える信徒のことを、「下士官」と呼んでいます。東京・足立区にある西新井小隊で62年間下士官として小隊を支えてこられた神庭俊夫さんと夫人の光子さんが、信仰の生涯について話してくださいました



「望みを抱いて喜び、艱難に耐える」人生の祝福を味わっています

神庭 俊夫

漆職人の父は、東京・浅草橋あたりで家庭をもっていました。昭和七年、結婚十三年目の長男として生まれた私は、両親の期待を一身に受け、厳しく躾られました。箸の持ち方が違くと、父から箸で手を叩かれ、母には父親のように持つよう促される、といった躾でした。だんだん私は僣みやコンプレックスを強くもつようになり、私が小学四年生の時、父が軽い脳溢血で倒れ、塗り物仕事やリヤカーでの納品などの仕事の手伝いをする生活になりました。その頃から吃音が出るようになり、友達からもからかわれ、人間不信に陥ってしまいました。そして、中学に入学して一年も

昭和三十二年に結婚し、昭和三十三年に結婚しました。和の頃、集会に行っていた私に、「神庭君という青年がいて、自分の家を建て、若いのに偉い」と父が話したり、時々本人が救世軍の用を頼まれて我が家を訪ねて来たりするようになりました。私は、結婚するならば信仰をもっている人、と思っておりましたので、主人との結婚の話は、神様のお導きと感じました。

神庭 光子

昭和三十二年に結婚し、昭和三十三年に結婚しました。和の頃、集会に行っていた私に、「神庭君という青年がいて、自分の家を建て、若いのに偉い」と父が話したり、時々本人が救世軍の用を頼まれて我が家を訪ねて来たりするようになりました。私は、結婚するならば信仰をもっている人、と思っておりましたので、主人との結婚の話は、神様のお導きと感じました。



救世軍士官(伝道者)の永島さんの家と、藤さんの家でした。思い切

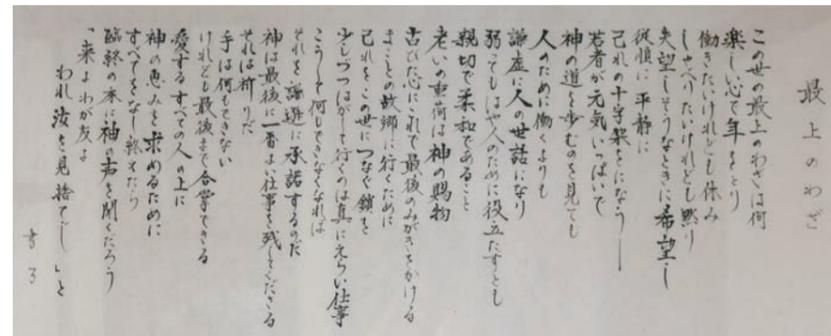


昭和二十八年に近所に家を建てることになりました。そして昭和三十年、応援してくださる方がいて二十三歳で仕事も独立

昭和三十二年に結婚し、昭和三十三年に結婚しました。和の頃、集会に行っていた私に、「神庭君という青年がいて、自分の家を建て、若いのに偉い」と父が話したり、時々本人が救世軍の用を頼まれて我が家を訪ねて来たりするようになりました。私は、結婚するならば信仰をもっている人、と思っておりましたので、主人との結婚の話は、神様のお導きと感じました。

私の近くの救世軍を紹介してください。キリスト教についてもつと知りたいたいです。『ときのことえ』の購読を申し込みます。ご住所

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の救世軍にお送りください。



創立者 ウィリアム・ブース 大将 プライアン・ペドル (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナード (救世軍本営 東京都千代田区)



世界をみつめて

〈カナダ〉 豪雨による非常事態宣言

4月下旬、急速に解けた雪解け水と豪雨が、カナダの首都オタワを含む3つの州(オンタリオ州、ケベック州、ニューブランズウィック州)に壊滅的な影響を与えました。河川の水位が急上昇したため、何千もの人々が避難を余儀なくされ、各地域で非常事態宣言が出されました。救世軍は、カナダ全土から人々を募り、洪水の影響を受けた人々とボランティアに対する支援を提供しました。



4月27日(土)、オタワのすぐ西にあるコンスタンス湾での救世軍の食事支援活動を、ジャスティン・トルドー首相が訪問し、土壌づくりにも協力してくださいました。他の地域では、消防署の要請を受け、採石場で土嚢を詰めている住民やボランティア、カナダ軍兵士への給食活動をおこないました。



〈ノルウェー〉 洗車場がオープン!

救世軍は、ノルウェー南部の都市テンスベルに、洗車場「Såpa」(ノルウェー語で「石鹸」)を開設しました。

この施設は、刑務所からの出所者の就業支援とリハビリ、社会貢献のため

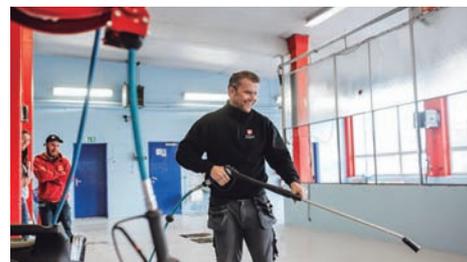
に開設されました。救世軍のモットー「スープ(食事)、ソープ(石鹸・衛生)、サルベージン(救い)」を表す総合的なアプローチにふさわしいこの働き。人々が過去や現在の精神的及び肉体的な状態に囚われることなく、有意義な仕事に取り組める機会を提供することをめざしています。

20年間リハビリ施設と刑務所に入所していた人が、運営を担っています。彼は、高圧洗浄機を正確に制御し、出庫する前のすべての車をチェックします。他の従業員にとって大切な模範となっている彼は語っています。

「私は、従業員が麻薬やアルコールの影響下にある間は仕事に来ることができないことを常に繰り返し教えています。状態が悪い時には家に送り返すのですが、状態が良いならば、いつでも歓迎されていることを示しています。私は、セカンドチャンスの重要性を理解しているからです。」

ノルウェーの救世軍は、職業訓練プログラムのための新しい方法を常に模索しています。救世軍が運営している、Fretexは、国内最大の職業訓練の会社となっています。

救世軍の名前は、テンスベルにおい



て「革新」と同義です。救世軍の小隊(教会にあたる)と、リハビリ・リサイクル産業が組み合わされることで、両者の働きは活性化され、新たな働きかけの機会が可能になりました。

テンスベルでは、カフェ、コンサート会場、自転車のワークショップ、織物の生産と印刷業などを救世軍が運営しています。日曜日の礼拝の場所をコンサート会場に移したところ、小隊のホールでおこなっていた時に比べ、地域からの参加者が大幅に増加しました。

「私は Såpa をぜひお勧めします」とはテンスベルのピーター・バーク市長の言葉です。続けて語っています。

「自分の車をテスト洗浄してもらいましたが、結果は素晴らしいものでした。救世軍は私たちのコミュニティで尊敬されている組織です。人々にとってどれほど意味のある生活をつくり出しているか、と感銘を受けています。」

救世軍とは? What is The Salvation Army?

心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は英国ロンドンに国際本部があり、世界131の国と地域で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブースによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールの悪影響の中にある人々、搾取される女性や顧みられない子どもたち、災害に遭った人々などに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、伝道の拠点である小隊(教会にあたる)を開設。廃娼運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童や女性の保護、アルコール依存症者回復支援など、時代にさきがけて、様々な働きを興してきました。日本人で最初に救世軍士官(伝道者)となったのは、山室軍平。キリスト教界だけでなく、社会福祉における先駆者の一人にも数えられています。

発行所 救世軍本営 図書印刷株式会社
 〒101-0051 東京都千代田区
 電話 東京(03)三三七〇八八一
 編集人 寺澤 真由子
 印刷所 救世軍 代表者ケネス・メイナード
 振替 〇〇二八〇一五四〇〇
 発行日 毎月一日発行
 定価 四〇〇円
 福音版 一部 一〇〇円
 広報版 一部 一〇〇円
 クリスマス特集号(十一月一日号) 一部 一〇〇円
 振替 〇〇二八〇一五四〇〇

(取扱支部) 救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題はお話しください。右救世軍にご相談ください。

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会

http://www.salvationarmy.or.jp